

### 単元名（教材名）

パラリンピックについて調べて、リーフレットを作ろう  
 （東京書籍『新しい国語 三下』『パラリンピックが目指すもの』）

### 本時の目標

目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。  
 [思考力、判断力、表現力等 C読むこと(1)ウ]

### 読解力向上プランVer. 2における指導のポイント

⑩記述式の解答が正答例と同義であるか判断させ、同義になるように修正させる。また、なぜこれでは同義でないかを説明させる。

	学習活動	指導上の工夫
導入	○前時に自分で要約した文章を読み返し、要約する際に大切なポイントを思い出す。	
展開	○教師が提示した要約文を見て、各自気付いたことをノートに書き出す。  ☆教師の要約文を、ペアで添削する。	・あえて主語を省いたり、難しい語をそのまま要約文に用いたり、必要な語を省略したりした要約文を示し、児童たちの力で気付かせるようにする。  ・添削させる際には、ポイント4点を示して、順番に確認させる。
まとめ	○それぞれのペアが添削した部分をクラスで共有し、よりよい要約文を完成させる。	

### ☆対話例☆



先生も頑張って要約してみたけれど、もっとよくなるようにみんなの力を貸してくれないかな？

先生の要約文には主語がないよ！



### ☆板書例☆

パラリンピックが目指すもの

めあて  
 パラリンピックのきょうぎ「ボッチャ」は、どんなきょうぎなのか、知らない人につたえるために要約しよう。

※下級生も読む

(四)五文で)

相手が分りよう

目でき

要約するときに大切なポイント

てんざくをしてみよう

○ひつようなじょうほうが入っているか。  
 ○主語とじゅつ語は入っているか。  
 ○おぎなつた方がいい言葉はないか。  
 ○わかりやすい言葉に言い換えられる部分はないか。

★先生が書いた要約文

重度しうがい者もさんかできるよに考えられたスポーツです。自分の持つ赤や青のボールを投げたり転がしたりして、「ジャックボール(目ひょう球)」という白いボールにできるだけ近づけ、とく点をきそい合います。相手のボールをはじくこともできます。アシスタントとよばれる人が、手助けをすることができます。

例選手の

★自分の要約文とくらべてみよう。

リーフレットづくりにかそう。

### ◇実践のポイント◇

あえて主語などを省いた要約文を提示し、ペアやグループでポイントに沿ってその要約文が適切かどうかを考えさせ、添削させるという言語活動を取り入れた授業です。

添削した部分をクラスで共有させるときは、その部分を指摘した理由も答えさせるようにしましょう。また、単語で答えさせず、文章で答えさせるよう教師側もじっくり待つようにしましょう。

### ◇活用できる教材例◇

- 「ウミガメの命をつなぐ」教育出版『ひろがる言葉 小学国語 四下』
- 「要約するとき」「アップとルーズで伝える」光村図書『国語 四上 かがやき』
- 「世界にはほこる和紙」光村図書『国語 四下 はばたき』